

麓、弥彦、井田3地区に分けて

観山荘で「お楽しみ会」

弥彦村敬老のつどい 地元会長の音頭で乾杯

弥彦村は二六、二七、二八の三百間、観山荘で平成二十九年度敬老の集いを開き、村内のお年寄りの長寿を祝った。二六日は麓地区などのお年寄りの八十四人が参加し、歌のアトラクションなどで楽しんだ。

弥彦村では以前は弥彦七十五歳以上で、今年度江、村山、観音寺、小林総合文化会館などで全村は対象者一千百十七人の豊彦村長のほか、来賓と対象の敬老会を開いていうち、ほぼ例年並みの二として地元の赤川幸子弥彦だが、出席が少なくなつたため、平成十五年から観山荘を会場に移し、地区別のお楽しみ会方式で開いている。

参加できるのは住宅の

域は麓一区、麓二区、境や、村財政の状況などを



村財政の状況を説明する小林村長

説明し、「このあすは率、医療費ともに県平均大丈夫かと思うが、将来を上回るといふ脳血管病的に考えると安心はでき患への注意を呼びかけないので、これからも村のため頑張っていく」と述べたほか、来賓祝辞では、本多村議が「健康にご自愛され、



観山荘で開かれた敬老の集い

来年もお会いできることを「ラッキーマンサンパを祈念します」と述べた。小林村長が「とし米寿のお年寄りに記念品のタオルケットを贈呈。今年度の対象は三十八人で、この日は出席した三人にステージで記念品を手渡した。

アトラクションは、新

十二時五十分ころ、地元老人クラブの会長の音頭で乾杯。参加者は弁当を食べてビールや日本酒の杯を傾けながら、老人クラブの出し物を見た、隣の高齢者総合生活支援センターの温泉でくつろいだりした。

翌二十七日は弥彦、走出、上泉、荻野、平野、鯨穴、峰見、美山、明二、十八日は井田、山岸、山崎、中山、矢作、太戸、川崎を対象に開いた。

三糸市図書館 新着図書紹介
 【購入】△作例でわかる老人ク
 △山田 俊明写真文・山と溪谷社
 △小林 日本気象協会著・成山堂書店
 △グ
 △後三時
 △十時
 △三本の源泉
 △源流掛け流し
 △100%天然自噴源泉
 TEL 0256-82-1126



アトラクションでは「ラッキーマンサンパ」が演歌を披露



老人クラブ会長の音頭で乾杯

- △山田
- △部講
- △老人ク
- △ネン交
- △小林
- △後三時
- △三時
- △十時
- △三本の源泉
- △源流掛け流し
- △100%天然自噴源泉
- △TEL 0256-82-1126